

コアジョイント

内面粗さ触手検査

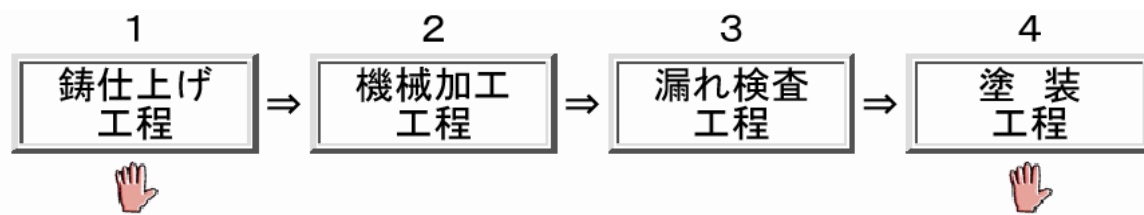
排水用管継手に求められる基本的な性能は、①継手内面に突起(バリ)等の有害な凹凸が無いこと ②漏れの無いことです。

そこで今回は、継手内面に有害な突起(バリ)等の有無をどのように判定しているか？その検査工程(継手内面粗さ触手検査)を報告します。

なお、漏れ検査工程については、既報(2000.10.31号)関連リンクをご参照下さい。

●関所は2つ

継手内面粗さ触手検査は、下記の4つの工程の中、1. 鋳仕上げ工程、および4. 塗装の前工程において担当者が継手の内面を、全数、手で触って検査を行っています。



●継手内面粗さ触手検査【図解】



●関連リンク

- Go: 全数検査 水没式ジョイント漏れ検査は、こちら
- Go: HQジョイント 通過実験は、こちら
- Go: KSTの通過実験 KST-K 100×80は、こちら
- Go: HPジョイントの流下状況は、こちら
- Go: DSTseries とりかえ～な 通過実験は、こちら